

〔様式 1〕

## 事務事業評価表

1～11までは、担当課による評価

記入年月日	平成15年3月12日			
平成15年度	事業コード	12320	電話	042-769-9230
担当部課名	保健福祉部	地域医療	課	地域医療 係
事務事業名	外科系救急医療体制支援事業			

## 1 総合計画における位置づけ

政策名	第2章	生涯にわたる健康づくりを進めます	事業開始年度
基本施策名	第3節	市民医療の充実	11年度
施策名	第2施策	救急医療体制の充実	

## 2 実施根拠及び関連法令等

外科系救急医療体制支援事業補助金交付要綱
----------------------

## 3 事務の区分

自治事務
------

## 4 経費の区分

その他の経費
--------

## 5 事務事業の分類

市単独事業
-------

## 6 受益者負担

なし
----

## 7 事業概要

(1)事業の目的...何をどのように(どのような状態に)したいのか	(2)対象(誰、何)
救急車搬送の手術等を必要とする外科系二次患者の受入れを円滑に行い、救急告示医療機関を補完することにより、二次患者の三次医療機関への集中を排除し、現状の救急医療体制の機能分担を推進させ、市民の救急医療体制を充実させる事業に対して助成している。	市民全般
	対象数 616,439人
(3)平成14年度事業の内容...市が実際に行った事業の内容	
外科系二次救急医療機関(有床医療機関のうち毎夜間1ヶ所)の確保 ・夜間 診療時間17:00(土曜 13:00、休日 9:00)~9:00、診療科目 外科系、受診者数 1,412人	
(4)個別計画の概要	概要
計画名	
計画年次	年度~ 年度

## 8 評価指標...事業の目的達成度を計るための指標

15,16年度は目標値

成果指標	指標名	指標式	指標設定の意図	指標の推移(年度)				
	患者数(人)	受診者合計	患者実績により、成果指標とする	12	13	14	15	16
				1,259	1,448	1,412		
活動指標	開設率(%)	開設日/開設予定日×100	開設率により事業の達成状況をみる	100	100	100	100	100

## 9 事業費等の年度別状況

〔金額単位：千円〕

	平成12年度	平成13年度	平成14年度	平成15年度	平成16年度
	決算	決算	決算	予算	予算(見込み)
事業費					
決算(予算)額	47,568	47,536	69,971	87,167	87,167
人員・時間数	0.2人/年	0.2人/年	0.2人/年	0.2人/年	0.2人/年
人件費	1,600	1,600	1,600	1,600	1,600
その他経費	0	0	0	0	0
合計	49,168	49,136	71,571	88,767	88,767
特定財源	0	0	0	0	0
対象数	607,293	612,605	616,439		
対象の単位あたり経費	0.1	0.1	0.1	#DIV/0!	#DIV/0!

10 個別評価

(1)達成度 評価 A ▼	A: 達成している	チェック項目	・成果指標の達成度 <input type="checkbox"/> 高 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低
	B: 一部達成していない		・活動指標の達成度 <input type="checkbox"/> 高 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低
	C: 達成していない		・事業目標の達成度 <input type="checkbox"/> 高 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低
		説明	救急告示医療機関を補完するため、休日・夜間において発生した外科系救急患者に対する制度であり、事業目標は達成していると考えている。
(2)必要性 評価 A ▼	A: 適応している	チェック項目	<input checked="" type="checkbox"/> ・市民や社会のニーズにかなっている
	B: 一部適応していない		<input type="checkbox"/> ・状況の変化(対象や内容)に対応している
	C: 適応していない		<input type="checkbox"/> ・当初設定した事業目的が達成されていない
		説明	<input type="checkbox"/> ・国、県、民間、市民との役割分担から見て、市が事業を行う必要がある
(3)有効性 評価 A ▼	A: 有効である	チェック項目	<input type="checkbox"/> ・上位の施策、計画目的達成のために有効である
	B: 一部有効でない		<input checked="" type="checkbox"/> ・期待された成果が得られている
	C: 有効ではない		
		説明	急病事業全般を実施していく上で、外科系救急患者に対する支援事業は有効なものと考えている。
(4)効率性 評価 A ▼	A: 優れている	チェック項目	<input checked="" type="checkbox"/> ・予算や人員に見合った効果が得られている
	B: 一部改善の余地がある		<input type="checkbox"/> ・他市と比べてコストや効率性が優れている
	C: 改善の余地がある		<input type="checkbox"/> ・他の類似事例と比べてコストや効率性が優れている
		説明	<input type="checkbox"/> ・同一対象者に対して同種のサービスが重複していない
		説明	事業の性格上費用対効果を図ることは難しいが、効率性は十分あると考えている。
(5)公平性 評価 A ▼	A: 公平である	チェック項目	<input type="checkbox"/> ・対象者と非対象者との不公平・不均衡は、妥当な範囲である
	B: 一部公平でない		<input type="checkbox"/> ・受益者の費用負担は適正である
	C: 公平でない		<input type="checkbox"/> ・対象者の設定は適切である(年齢や所得等を考慮している)
		説明	市民全般に対する急病事業であるため、公平性は十分保たれている。
成果向上の余地		事業費削減のために取り得る手段と削減額	
<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> ない	説明: 今後とも外科系救急患者は増加すると予想されるため、向上の余地は十分あると考えている。	手段	
		削減額	千円

11 総合評価

評価 A ▼	他自治体の類似事業との比較	
	県下のほとんどの自治体で外科系支援事業は実施している。これは、救急告示医療機関を補完するためには必須な事業であるため。	
今後の進め方		
<input checked="" type="checkbox"/>	継続	総合評価に関する説明
<input type="checkbox"/>	見直し	夜間、土曜日、休日における救急患者に対する医療の確保を図ることは今後とも必要であることから、更なる充実を図っていく必要があると考えている。
<input type="checkbox"/>	廃止	
<input type="checkbox"/>	完了・廃止済	

12 二次評価コメント

積算単価の見直しを行っていくこと
------------------